

東京大空襲75年

東京大空襲を 語り継ぐつどい

東京大空襲・戦災資料センター 開館18周年

〈主催〉 東京大空襲を語り継ぐつどい実行委員会
〈連絡先〉 東京大空襲・戦災資料センター



〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4
TEL:03-5857-5631 FAX:03-5683-3326
<https://tokyo-sensai.net/>

日時 2020年3月7日(土)

開場 13時 **開会** 13時30分 **閉会** 16時20分予定

会場 江東区深川江戸資料館2F・小劇場 ※アクセスは裏面

定員 220名(当日先着順) **参加費** 500円(高校生以下無料)



講演 吉田 裕

(公益財団法人政治経済研究所付属
東京大空襲・戦災資料センター 館長)

「今、戦争体験と向き合う」

*文化行事 合唱団 この灯 合唱組曲「燃える川」より

*体験を語る 関野清雪さん 「学童疎開から逃げ帰って」

*戦災資料センターのこの一年の動き

*センターで学ぶ子どもたち



交通案内

◆都営地下鉄大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」駅下車 A3 出口 徒歩 3 分

◆都バス門 33 系統 豊海水産ふ頭～亀戸駅「清澄庭園前」下車 徒歩 3 分

◆都バス秋 26 系統 葛西駅～秋葉原駅「清澄白河駅前」下車徒歩 4 分



東京大空襲・戦災資料センター

1945 年（昭和 20 年）3 月 10 日未明、約 300 機のアメリカ軍爆撃機 B29 が、東京下町を目標に焼夷弾による無差別爆撃をおこないました。一帯は火炎地獄と化し、罹災者は 100 万人をこえ、推定 10 万人もの尊い命が失われました。東京は 3 月 10 日を含めて 100 回以上の空襲を受け、市街地の 5 割を焼失しました。

1999 年に「平和祈念館」建設計画を凍結。記録する会と財団法人政治経済研究所は、やむにやまれぬ思いで民間募金を呼びかけ、4000 人超の方々のご協力を得て、2002 年 3 月 9 日に東京大空襲・戦災資料センターが開館しました。

開館からの 18 年間、多くの会員のご支援のもと、民立民営の平和博物館として、来館者に空襲の実相、いのちと平和の尊さを伝えてきました。空襲体験者の引退が迫るなか、現代の来館者の関心・ニーズに応えられるように、現在リニューアルを進めております。4 月 4 日リニューアルオープンの予定です。